

ソーホーかごしまでの「市長とふれあいトーク」 (テーマ：観光) 発言に対する検討結果等

〔開催概要〕

日時：平成20年8月6日（火） 15：30～16：30

場所：ソーホーかごしま（みなと大通り別館） 6F会議室A・B

※ 平成20年度のグループ申込型の2回目として開催（観光）

平成20年9月
鹿児島市 市民参画推進課

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成20年8月6日（水）15：30～16：30
場所：ソーホーかごしま 6F会議室A・B

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	かごしま探検の会 男性	① 大河ドラマ「篤姫」の影響で観光は盛り上がっているようだが、このままでは一過性のものに終わるのではないかと。観光のイベントも地域住民が参加してこそ初めて地域おこしや地域の活性化につながるのではないだろうか。 また組織主体のイベントに対して個人主体のイベントは時間と手間がかかるが、あえて手間をかけて取り組んでいかないと地域づくりは進まないと思う。	① ご指摘の通り、地域の活性化のためにも地元で根を下ろした観光事業が重要であると思います。「篤姫」の効果が一過性のものにならないかの危惧はありますが、これを起爆剤に本市観光振興の一層の発展につなげていきたいと考えています。 また観光事業推進における住民参加を進めることも重要です。例えば、20年度から始まった「かごしまぶらりまち歩き」は市民の皆さんの参加をいただいている例になります。今後とも市民・行政・事業者が一体となった観光施策を進めていきたいと思います。	経済局	① 本市におきましては、平成18年度に「鹿児島市観光プログラム作成事業」の中で、市民の皆さんから「私がすすめる鹿児島市の魅力」募集を行った他、公募市民からなるワークショップを開催するなど、市民の皆さんと一緒に、これまで埋もれていた観光資源の掘り起こしを行いながらコース作りを進め、4.6のまち歩きコースを設定いたしました。 また、平成19年度には、「かごしまボランティアガイド」の募集、養成を行った結果、255名の市民の方が研修を修了され、今年度より活動を始めておられます。 この「かごしまボランティアガイド」の皆さんは、12のコースでまち歩きを楽しんでいただく「鹿児島ぶらりまち歩き」におけるガイドの他、西郷銅像前や城山展望台など主要な5箇所の観光地での案内などの活動を行っていただいております、これまで以上に観光客の受入体制の充実が図られたものと考えております。 こうした取組みによって、大河ドラマの影響で盛り上がった鹿児島観光の勢いを一過性のものとせぬよう、市民の皆様と一緒に、新たな鹿児島の楽しみ方を観光客へ提供していくとともに、鹿児島の魅力を情報発信してまいりたいと考えております。
		② まち歩きをされていて、鹿児島のまちには、街路樹が少ないのではないかと。街路樹が増えれば木陰が増えてまち歩きもしやすくなると思う。	② ご指摘の通り、本市の緑、街路樹はやや少ないと感じます。環境に配慮する観点からも、国・県・企業や地域などそれぞれの管理主体を含め協働して、まちの緑陰づくりを進めていきたいと思います。	建設局	② 街路樹は、ヒートアイランド現象の緩和など、都市環境の改善に大きな役割を果たしていることから、今後も、土地区画整理地区内など新設された道路において、鹿児島の気候風土に適した樹種を選定し、植栽していきたいと考えております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成20年8月6日（水）15：30～16：30
場所：ソーホーかごしま 6F会議室A・B

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
2	ゆめみなと 鹿児島 男性	<p>まちのにぎわいづくりのために鹿児島本港区住吉地区での実験市場に取り組んできた。中央駅からナポリ通り・パース通りを進んだ正面が住吉地区になる。ナポリ・パースの緑陰通りから住吉地区、さらに天文館という回遊性のあるまちづくりを進めることで、にぎわいのある鹿児島島のまちづくりができると思う。</p> <p>住吉地区は場所も良く、その再開発にはみなさん期待しているのではないか。</p>	<p>本港区の再開発には多くの市民の皆さんのご協力が必要です。住吉地区では15番街区の洲崎住宅の撤去が行われ、今後有効利用のための方策を立てていきたいと考えています。県や商工会議所なども含めた「ポートルネッサンス21計画」でも明確な方向性は見えていませんが、中央駅からナポリ・パース通り、住吉地区を経て天文館、さらに北埠頭という回遊性のあるまちづくりの実現のため県にも強く働きかけていきたいと思ひます。</p> <p>県の港湾計画と整合性を図りながら、この再開発を地域活性化につなげたいという思ひもありますので、パース通りの歩道の整備・拡幅など、歩いて回遊できる環境の整備や、周辺の魚類市場も含めた再開発への取り組みへの協力を県にも要望していきたいと思ひます。</p>	建設局	<p>住吉町15番街区については、平成17年までに冷凍倉庫事業所が撤去されるなど更地化が進んでいますが、県、市及び民間所有の建物が残っている状況です。</p> <p>この内、市所有の洲崎団地については、老朽化のため、平成20年10月中旬までに解体撤去の予定です。</p> <p>また、住吉町15番街区が面する臨港道路の拡幅については、県において20年度から調査設計に着手する予定であり、残された建物撤去について、一定の進展が見込まれる状況となっています。</p> <p>このような状況を踏まえ、県・市・商工会議所で組織する「鹿児島港ポートルネッサンス21事業推進協議会」では、20年度は前年度に引き続き、南ゾーンの開発の在り方の検討を進めるとともに、建物撤去が進む住吉町15番街区の当面の利用方針について、検討を行うこととしています。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成20年8月6日（水）15：30～16：30

場所：ソーホーかごしま 6F会議室A・B

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	かごしま探検の会 男性	① 例えば小樽市では、レトロ街を一部復元することで観光客が集まっている。鹿児島市でも港の倉庫街など一ヶ所でもよいので、目に見える形でのレトロ街の整備、レトロな雰囲気づくりをお願いしたい。	① レトロ調の街並みについては、平成21年度完成を目指して甲突川左岸緑地に明治維新時代の武家屋敷の整備を進めているところです。石橋公園を含め、今後市民の皆さんのご意見をいただきながらレトロ調の街並みづくりを進めていきたいと思ひます。	経済局	本市におきましては、明治維新で活躍した多くの偉人の誕生地がある加治屋町の甲突川左岸緑地及びその周辺を、「歴史ロード“維新ふるさとの道”（仮称）」として、市民や観光客が往時に思いを馳せ、楽しみながら歴史探訪の散策ができる空間整備を行うこととしております。 20年度より2ヶ年かけて整備工事を行いますが、敷地内には下級武士の屋敷やいろは歌の広場など、往時に思いをはせながら散策できるよう整備することとしております。 また、敷地内にある維新ふるさと館の体感ホールリニューアルも20年度予定されておりますことから、連携を図りながら維新のまち鹿児島への雰囲気づくりに取り組んでまいりたいと考えております。
		② 鹿児島市を訪れる外国人観光客の中で最も多いのが韓国人の方だと思ひますが観光案内などには韓国語表記がほとんど見られない。また観光案内ガイドとして留学生をはじめとする鹿児島に滞在する韓国人の方々を活用してはどうか。	② 外国人観光客の方は年々増加しており、一番多いのが韓国人の方々です。観光案内版については英語・中国語・韓国語で表記するよう国際交流アドバイザーの助言も受けながら取り組んでいるところです。本市は国際観光都市を標榜しておりますので、それに恥じないよう取り組んでいきたいと思ひます。また、そのことが鹿児島県全体の観光客増加にもつながることから県の観光部局や観光協会、周辺市町村とも協議しながら取り組みを進めたいと思ひます。	経済局	本市におきましては、国際観光への取組み、特に韓国を含む東アジアからの誘客を図っていくことが重要であると考へており、今後とも外国人の方々が安心して快適に観光していただけるよう、留学生の活用等について、関係部局や関係機関と連携し取り組みを進めてまいりたいと考えております。 また、案内板につきましては、現在、主要な大型施設サインは、日本語・英語・中国語・韓国語の4か国語で表記しております。さらに新設やリニューアルの際には、多国語表記を念頭に入れ対応を図っているところです。今後とも、国際交流アドバイザー等の意見も参考にしながら、計画的な整備に努めてまいりたいと考えております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成20年8月6日（水）15：30～16：30
場所：ソーホーかごしま 6F会議室A・B

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	ゆめみなと 鹿児島 男性	① 鹿児島湾は市街の前まで内海として入り込んでおり、この海面を価値あるものとして利用しない手はないと思う。例えば魚釣り・シーカヤック・海水浴などだが、若者が関心を持つメジャーな海洋スポーツでの利用を検討してほしい。 鹿児島湾の港湾は県の管理なので難しいと思うが、マリーナやシーカヤックの基地の整備など進めるべきではないだろうか。	① 海洋スポーツ普及に向けての港湾活用については、海を活かしたまちづくり、鹿児島湾の利用、マリーナの整備などを公約として掲げたところですが、マリーナ整備はいまだ進んでいません。先日のヨットレースの際もマリーナがないと気軽に鹿児島に来られないのご意見があり、マリーナ整備が必要であると考えていますので、港湾の管理者である県に対して港湾計画改定の際にはマリーナ整備を再検討するよう要望しているところです。	建設局	① 鹿児島港におけるマリーナの整備については、県が定める港湾計画において、本港区、中央港区、浜平川港区の3箇所に位置づけられています。 本市は県に対して早期整備を要請しておりますが、県は、小型船だまりやマリーナについては、鹿児島港全体として、現在進めている港湾計画の改訂作業の中で、現在抱える課題や既存施設の有効活用等について検討を行い、計画を策定したいとしています。 また、港湾計画の改訂については、平成18年度から改訂に向けた調査が県において進められていますが、調査費の確保や住民参加手続き手法の検討等、課題もあることから、今後のスケジュールについては未定とされています。 このようなことから、本市としては、県に対し港湾計画の早期改訂とマリーナの早期整備を要請しているところです。
		② 桜島フェリーの観光への有効活用策として、市電・市バスの一日乗車券を使えるようにしてほしい。 一日乗車券があれば市街地も桜島に渡ってからもバス代はかからないが、その間をつなぐフェリーだけが割引とはいえ、料金を払っている。一貫して利用できるようになればより多くの県外旅行者にも船上の楽しみを知ってもらえるのではないだろうか。	② 所管の交通局と船舶部に一貫して利用できないか、検討するようお話を伝えたいと思います。	交通局 船舶部	② ご指摘のとおり、現在、交通局が発行し、市電、市バス及びシティビューに何度でも乗車できる一日乗車券について、船舶部の運航する桜島フェリーも乗船可能にした場合、更にその利便性は高まり、観光客はもとより市民からも好評を得られることが見込まれます。 そこで、桜島フェリーにも乗船できる新たな一日乗車券の発行について、本市関係部局と連携を図りながら、今後、検討してまいります

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成20年8月6日（水）15：30～16：30
場所：ソーホーかごしま 6F会議室A・B

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	かごしま探検の会 女性	<p>① 桜島定期観光バスは中央駅から1日2回出ていると思うが、そのうち1回目の出発時刻が9：00と早すぎるので、せめて10：00あるいは10：30出発に繰り下げることはできないのだろうか。県外から宿泊で来られた観光客の方々に9：00出発は早いように思う。</p>	<p>① 市営観光バスということであれば、ご指摘の状況について交通局に伝えて調査したいと思います。</p>	交通局	<p>① 定期観光バス（桜島自然遊覧コース）は、午前便が9時00分発、午後便が13時40分発の一日2便運行しております。 運行時間を3時間30分のコースで設定しており、午前便は12時30分鹿児島中央駅着としております。 午前便をご利用のお客様の昼食時間や、次の目的地への移動等考慮した場合、現在の9時00分出発が妥当な時刻と考えておりますのでご理解いただきたいと思います。</p>
		<p>② 外国・県外から来た観光客が桜島フェリーを車で渡ることは少ないと思われるが、桜島側では白浜行きのバスは30分に一本、赤水行きは1時間に一本といった状況で個人客は乗りそこなうと1時間近く待つことになってしまう。 一方でレンタカーを借りようとしても1店舗しかなく、保有台数も少ない上に料金も高く、観光しやすいとは言えない。観光地として有名な桜島だが、観光客には利用しにくいのではないだろうか。</p>	<p>② 桜島地域の市営バスは、元の町営バスを引き継いで地域住民の皆さんの交通確保のために運行しています。観光客の方々の利用という観点からも検討できないか交通局に伝えたいと思います。</p>	経済局 交通局	<p>② 桜島の路線バス運行につきましては、限りある人員機材でバスの運行を行っており、すべての観光客の方々のニーズに対応できる運行は難しい面がございます。 しかしながら、観光客の方々にとりまして、より利便性の高いバスの運行ができるよう、関係部署とも連携を図り協議してまいりたいと考えます。 また、桜島島内における観光客の利便性の向上につきましては今後も関係部局等とも連携をとりながら、検討してまいります。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成20年8月6日（水）15：30～16：30
場所：ソーホーかこしま 6F会議室A・B

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	ゆめみなと 鹿児島 男性	① かつて観光担当の記者だったころから鹿児島への観光入り込み客1000万人への取り組みを訴えたが、それから50年近くたっても達成できずにいる。「篤姫」、「新幹線全線開業」と人が来る要素はあるので、かつて効果のあった観光キャッチコピーを、今度は全国規模で公募してはどうか。公募すること自体が大きな宣伝につながると思う。	① 鹿児島には観光資源は多くあると思いますが、それぞれをどのように活用するかが課題です。九州の各都市は新幹線の全線開業に向け魅力のアピール、切磋琢磨に取り組んでいます。 観光による交流人口の拡大が経済の拡大にもつながることから、本市でも平成17年に策定した観光未来戦略を着実に実施することで魅力を高め、さらに全国にアピールしたいと考えています。	経済局	① 本市におきましては、平成23年春の九州新幹線全線開業を見据え、平成17年度に策定した「鹿児島市観光未来戦略」に基づき、その中で掲げた観光客数の目標値を達成するために、官民一体となって各種施策を進めているところであり、今後も本市の観光資源の魅力を高めるなどして、全国にアピールしてまいりたいと考えております。 なお、九州新幹線全線開業に向けて、観光都市鹿児島をアピールするキャッチフレーズにつきましては、平成18年度に全国から応募を募り選定した「あっとほっとずっと鹿児島」を観光ポスター等で活用しておりますが、今後も様々な形で情報発信してまいりたいと考えております。
		② 例えば京都市なら、祇園会館のように「観光情報ならここへ」という、どのホテルも観光客に案内できる施設がある。これに対して鹿児島市にはそうした施設がないように思う。また観光客にとっては昔から夜はさびしい状況である。一方で種子島・屋久島という魅力ある離島に発着している良さもある。 こうしたことも含めて鹿児島の観光案内や情報提供できる中核の施設を繁華街に整備してはどうか。西郷銅像前にあり、伝統ある建物でもある中央公民館をそうした施設として利用すればよいのではないか。	② 多くの他都市を訪問しますと、夜のまちの魅力づくりに努めており、また繁華街の中に観光の核になる拠点施設などが設けられているようです。 これに対して本市には夜間、とりわけ女性の方が安心して楽しめる施設や拠点施設がない状況がありますので、民間のご協力をいただきながら、行政も一体となってそうした施設の整備に向けた取り組みを進めていきたいと思っております。	経済局	② 現在、本市におきましては、鹿児島中央駅、鹿児島商工会議所ビル、桜島港フェリーターミナルの観光案内所に加え、本年3月から、城山町（西郷隆盛銅像横）に、まち歩き観光ステーションを設置するなど、観光案内・情報提供の充実を努めてきております。 また、公共施設等のライトアップなどを行うとともに、シティビューの夜景コースを運行するなど、彩り豊かな魅力ある鹿児島の夜の演出、滞在型観光の推進を図っているところです。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成20年8月6日（水）15：30～16：30

場所：ソーホーかごしま 6F会議室A・B

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	かごしま探検の会 女性	① 観光にはシティビューや市電が大いに利用され、案内の上手な運転手さんもいて大変好評である。ただザビエル教会から西郷銅像の間で、小松帯刀屋敷跡とその銅像、島津斉彬公の照国神社の案内が無く、これを付け加えていただくと観光案内として一層良いのではないかと思う。 また、運転手の交代の際、乗客に対しても「貴重な時間をいただきます。これより私〇〇が安全運転で乗務いたします」というアナウンスがあると、さらに印象が良くなると思う。	① シティビューなどでの乗車中の案内については、乗客の皆さんへの心配りとともに、気持ちよく観光地を知っていただけるよい方策について、ご指摘の史跡案内の追加を含め、交通局に伝えたいと思います。	交通局	① シティビュー乗務員は、運行中の信号待ちの間や道路混雑時に、安全運行に支障の無い、可能な範囲で周辺の施設・観光案内をしております。 また、乗務員交代の際は「乗務員交代のためしばらくお待ちください」という内容の車内案内を徹底するよう指導しているところでございます。
		② 市役所前周辺にホームレスの方がいることがある。観光の面からも行政のほうでしっかり対応していただきたい。	② ホームレスの方々は転々と移動されている状況もありますが、行政としてしっかり対策をとっていきたいと思います。	健康福祉局	② ホームレス対策については、国において平成14年8月に「ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法」が施行され、自立の意思がありながらホームレスとなることを余儀なくされた者に対し、地域の実情に応じた自立への支援等を行っていくこととなりました。 本市としましては、これまでにホームレスの方々の人数調査を行い、健康相談や健康診断及び生活保護等の相談を実施し、衛生状況の改善指導、公衆衛生の確保及び感染症の予防に努めるとともに必要な方には生活保護制度により対応しております。 また、今年度から「ホームレス巡回相談指導事業」の実施により、これらの方々が起居すると思われる場所を巡回し、生活保護や医療機関の受診などの相談・指導を行い、その自立を支援しているところであります。
		③ 観光客の方々が利用できる子どものおむつ交換のための設備や授乳施設は市街地にあるのだろうか。わかりやすく、利用しやすい案内のさらなる工夫をお願いしたい。	③ ご指摘の設備等については、市役所をはじめ、公共施設やデパートなどの大型店舗などには設置されております。観光客の皆さんにそれを知っていただけるよう広報、周知についてしっかり取り組んでいきたいと思います。	健康福祉局 経済局	③ 子どものおむつ交換のための設備や授乳施設等につきましては、関係機関と連携して、観光客の方々にわかりやすく利用しやすい案内について、今後検討してまいりたいと考えております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成20年8月6日（水）15：30～16：30

場所：ソーホーかこしま 6F会議室A・B

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	かこしま探検の会 男性	<p>歴史と観光は結びつきやすく、子どもの頃から地域の歴史に関心を持たせれば、他の地域の歴史にも関心を持つようになると思う。</p> <p>地域のまとまり、地域力を高めるためにも、小学校区を範囲とした歴史マップの作成と配布への補助をお願いしたい。そのことがひいては鹿児島島の観光振興にもつながると思う。</p>	<p>私の世代のころまでは郷中教育の流れが残っており、先輩から地域のことも教えられていたように思います。現在地域の連携が希薄となっている状況が見られるのは事実です。子どもが小さい頃から地域の歴史・文化を学ぶのは重要なことであり、地域の皆さんがおっしゃるような取り組みをされるのであれば、行政としてもいっしょになって考えていきたいと思っています。</p>	経済局 教育委員会	<p>現在、本市におきましては、児童・生徒のみなさんに、鹿児島島の歴史と偉大な先人たちについての知識を深めていただき、その素晴らしさを観光客の方々へも伝えていただくことを目的として作成した「もっと知ろうよ 維新のまち」を維新ふるさと館等で配布しておりますが、今後も関係機関と連携して、周知に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、本市では、小学校区を単位とした校区公民館運営審議会を対象に、平成17・18年度は「わがまち自慢づくり支援事業」として、平成19～21年度は「わがまち自慢づくり推進事業」として、全校区に毎年各5万円の補助金を交付しています。</p> <p>この事業での取組は各校区で様々ですが、校区によってはこの事業において「史跡マップ」等を作成し、校区内の各世帯に配布している校区もあります。</p> <p>このように校区独自の自慢づくりにつながるような事例を紹介しながら、今後とも各校区公民館運営審議会の主体的な取組を支援してまいりたいと考えております。</p>